

朗報! 県立高校クーラー

- 90教室(未設置学校)への設置
- 電気代が保護者負担なしに

辻議員は昨年9月の一般質問で、「PTAが教室にクーラーを設置し、電気代も保護者負担になっているのは、おかしい」と批判し、県費での設置を求めていました。

新型コロナ対策として、学習の遅れを取り戻すため夏休みが短縮され、登校する生徒の学習環境を整えるために設置となりました。



コロナ
対策

PCR拡充・病院補償など求める!

実現できました

- ①1日のPCR検査数を現在の4倍に増強(1,780件) 2億5809万円
- ②ドライブスルー方式による検体採取を実施 6609万円
- ③PCR検査と抗原検査の自己負担分の補助 2183万円
- ④児童福祉・高齢者・障がい者の各施設や学校へのマスク、消毒液 15億234万円
- ⑤医療機関へのマスク、消毒液、防護服など 14億2663万円
- ⑥感染病院への補償 75億2598万円
 - ・空床1床あたり 5万円
 - ・人工呼吸器対応病床 2万円
- ⑦帰国者接触者相談センター相談員10人の増強 820万円
- ⑧感染症患者搬送車の配備(9台) 3400万円
- ⑨指定管理者施設への運営支援 3億8200万円
- ⑩感染拡大防止協力支援金の申請期限の1週間延長
- ⑪臨時休業期間の学校給食キャンセルに伴い、事業者が既に発注していた食材に対する補てん 619万円
- ⑫小学校臨時休業に伴い、終日開所する放課後児童クラブへの支援 1億194万円
- ⑬新型コロナの影響を受けている就労継続支援A型・B型事業所の支援 3200万円
- ⑭民間金融機関を活用した実質無利子・無担保の資金繰り支援
 - ・融資限度額 4000万円
 - ・融資枠 6500億円

広島市・福山市・呉市の帰国者接触者相談センターへ相談員10人の配置、感染症患者搬送車の

日本共産党は金権腐敗政治と無縁な清潔な党です。私は、その党の議員であることを誇りに思っています。県民の命と暮らしを守る県政実現に、引き続きみなさんとともに力を尽くします。

保健所が体制強化に

辻議員は生活福祉保健委員会で、PCR検査拡充を何度も求めました。

6月2日の委員会では、「身近な所でPCR検査を受けたい」との要望が多数あり、「全ての市町で検体採取ができるよう取組を強めてほしい」と要求。検体採取できない

市町が江田島市・大崎上島町、北広島町・世羅町・神石高原町・府中町・海田町・熊野町だと判明しました。



第4回目の要望書提出=5月12日

辻議員は、広島市医師会の開業医を対象にした緊急アンケートで、9割以上が「4月の外来患者や収入が減った」と回答した地元紙報道や、3つの医療機関の調査結果を示して質問。

「広島市のある病院は、4月患者数が前年比25%減り、経常利益も約2千万円減の危機的状況だ」と述べ、一般病院への減収補てんを求めました。

辻つねお県議会ニュース

日本共産党県議会議員

辻
つねお

東京では新型コロナウイルスの市中感染が広がりつつあり、広島県でも再び感染者が出ています。さらに、九州を中心に豪雨災害が発生し、各地に大きな被害を与えています。

みなさん、不安な日々をお過ごしのことと思います。

・河井克行・案里夫妻の選挙貢収事件は県政を揺るがし、県民の怒りは沸騰しています。

「河井夫妻は辞職せよ」、「金を受け取った議員は責任を明らかにし辞職せよ」は県民の世論です。居座りは許せません。

こんにちは
日本共産党

新型コロナウイルス感染が拡大し、県民生活に大きな影響が出ています。広島県議会は4月臨時議会、6月定例会(6月22日～30日)を開き、合計1183億円の一般会計補正予算を決めました。辻議員は委員会質問や要望書提出、懇談など市町議員と一緒に取り組み、要求実現に奮闘しました。

PCR検体採取 すべての市町で

コロナ受け入れ病院 「空きベッド」が補償に

コロナ患者受け入れ病院はどこも大赤字が問題

に。福山市のある病院は3月だけで2千万円の損

失が発生しました。

福島県・兵庫県の「空きベッドの補償」制度を示し、県の対応を求める

した。



要求実現にがんばっています

この間、委員会で取上げた主な質問項目を紹介します。詳しくはホームページをご覧下さい。
一面で紹介した以外のものです。

■ マスクなど医療資材の確保・配布を急いで

生活福祉保健委員会（4月30日、6月9日）

辻議員は、マスクの内側にガーゼをはさんで一週間使用、ゴミ袋でガウンを代用し、100円ショップの材料でフェイスガードを作っている病院の医療資材不足の実態を示し、国に要望するとともに、県独自でも調達するよう要望しました。

■ 受診の目安、保健所に徹底を

生活福祉保健委員会（5月22日）

厚労省が新型コロナの受診目安（37.5℃、4日以上）を変更（5月8日）した後の対応を質問。

三次市の高齢者からの「保健所から以前と同じ4日たってから連絡してほしいと言われた」との苦情を紹介。担当課は「医師が必要だと判断すれば検査するよう徹底する」と答えました。

辻議員は、在職25年で永年議員として表彰されました。7期連続で当選、日本共産党の貴重な一議席を守ってきました。

※所属常任委員会は今までどおり、「生活福祉保健委員会」になりました（任期1年間）。

ご要望やご意見を、ぜひお寄せ下さい。



新型コロナ



■ 感染拡大協力金の申請期限の延長

県の休業要請に応じた中小企業・個人事業主に支払われる「県感染拡大防止協力支援金」（最大50万円支給、事業規模93億円）の申請期限が6月1日まででした。高齢の事業主から「申請の仕方が分からぬ」「制度を知らなかった」との声が寄せられ、延長を県に要望。1週間延長されました。

■ 指定管理者施設への支援

辻議員は「県立高校の吹奏楽部が演奏会を中止したが、会場のキャンセル料が返還されない」との相談を受け、対応を求めていました。

指定管理者（県立施設）が、コロナ禍で利用料収入が減少し経営困難になったため、県は支援することに。キャンセル料も支払われることになり、大変喜ばれました。

死亡多発交差点に信号機を－三原市

辻議員と寺田元子三原市議は6月29日、三原市内2か所の信号機設置を求めて申し入れました。

一つ目は、「主要地方道・尾道三原線」（17年間に11件の死亡事故）にある交差点。死亡事故が多発するため三原市も広島県警に要望書を出しています。

二つ目は、皆実5丁目の交差点。現在、拡幅工事中ですが、完成すると車の交差が複雑な交差点となり、地元町内会から「信号機が絶対必要」と要望書が出されています。



死亡事故があつた道路状況を説明。右から辻議員と寺田議員=6月29日、県議会

新型コロナ対策

6月定例県議会

補正予算719億円

福祉・医療・教育分野

● 社会福祉施設の空調整備などの感染防止対策

61億5000万円

● 医師や看護師の定期的なPCR検査

5億6500万円

● 社会福祉や医療施設の職員への慰労金

150億円

（医師・看護師など対象者18万人）

● 病院・薬局などの院内感染防止対策

87億8000万円

● コロナで収入が減少した世帯に生活貸付資金 10万～20万円

● 補習などを実施するため、学習指導員576人配置

（高校279人、特別支援12人、中学81人、小学204人）

● 消毒などの業務補助をするスクールサポートスタッフ追加 315校

適切な種子保存をめざし
種子条例を制定

「種子法」廃止を受けて、議員発議で「種子条例」が制定されました。中四国では鳥取県に続き2県目。広島県条例の特徴は、種子法が対象外だった野菜や花について、県による種子の適切な保存を打ちだしたことです。

「県立大学」は、ソーシャルシステムで「デザイン学科の1学部1科。1学年定員100人（留学生枠20人）です。場所は広島市中区幟町、旧広島国際大学・広島校舎を県が取得しており、今回、公立大学法人広島大学に出資。海外市場を開拓できる人材、企業のグローバル化やーーの進展に対応した人材を育成します。大学は、本来の目的である真理探求の学問の場として、広く県民に開かれたものにすべきではないでしょうか。

来年4月に開学する「広島県立歴史大学」は、ソーシャルシステム

今こそ少人数学級の実現を－教育委員会と懇談



県教委と懇談する、右から辻議員と大平氏=6月15日、県庁

辻議員と大平喜信前衆院議員は6月15日、県教育委員会を訪れ、日本共産党の「学校再開にあたっての緊急提言」を届けて懇談しました。

大平氏は「コロナ禍の今こそ、少人数学級の実現が必要だ」と強調。辻議員は「現場の声をぜひ聞いてほしい」と要望、応対した管理部長は「大変意義のある問題提起を頂いた」と話しました。

岩国基地－爆音の訓練の移設を許すな

辻議員と大平喜信前衆院議員は5月15日、岩国基地での空母艦載機着陸訓練（FCLP）の中止を求めて、県に要望しました。

米軍岩国基地所属の空母艦載機の訓練（硫黄島・5月14日～6月10日）が悪天候の場合には、岩国基地で実施されます。

爆音を伴うFCLPを、岩国基地で実施することに抗議しました。



FCLP訓練中止を要望する、左から辻議員、大平氏ら=5月15日、県庁